

筑波大学「日本財団 中央アジア・日本人材育成プロジェクト(NipCA)」主催

公開講演会シリーズ

「中央ユーラシアと日本の未来」

第19回

ベルギーの多文化共生と移民問題

筑波大学 人文社会系 准教授 ヴアンバーレン・ルート

Supported by  日本財団 THE NIPPON
FOUNDATION

2021年4月

筑波大学「日本財団 中央アジア・日本人材育成プロジェクト(NipCA)」主催

公開講演会シリーズ

「中央ユーラシアと日本の未来」

第19回

ベルギーの多文化共生と移民問題

筑波大学 人文社会系 准教授 ヴアンバーレン・ルート

講演会シリーズ「中央ユーラシアと日本の未来」の 講演会記録(第19回)の刊行に寄せて

白山 利信

筑波大学人文社会系教授・NipCA プロジェクト実務責任者
グローバルコミュニケーション教育センター長

今年度で3年目を迎えた筑波大学「日本財団 中央アジア・日本人材育成プロジェクト (NipCA)」は、2019年1月、文部科学省「大学の世界展開力強化事業 (ロシア)」の本学の採択事業「ロシア語圏諸国を対象とした産業界で活躍できるマルチリンガル人材育成プログラム」(2014-2019)の成果とノウハウを引き継ぎ、新たなミッションを担ってスタートしました。初年度を成功裏に締めくくべく残された事業案件を進めていた2020年春、新型コロナウイルスのパンデミックという事態に突然見舞われ、その時点で予定していた研修事業や国際学会は中止せざるを得ず、次年度の計画のすべてが変更を余儀なくされました。その後、新型コロナウイルスが収束しない中で、活動形態をオンラインに切り替え、派遣・受入事業を除けば、初年度以上のプロジェクト活動を推進することができました。NipCA プロジェクト主催の公開講演会「中央ユーラシアと日本の未来」シリーズもそうした事業のひとつで、Zoom によるオンライン開催に切り替えて行いました。オンラインという形態によって聴講者数が増加し、毎回60～80名あまりの聴講者に参加していただきました。聴講者から講演内容がすばらしいので、冊子として読みたいとの多くの声を頂戴しました。そこで、本プロジェクトの社会貢献の一環として、講演会記録冊子として刊行することにしました。

本冊子に収められているのは、通算で第19回目になる「中央ユーラシアと日本の未来」公開講演会「ベルギーの多文化共生と移民問題」の全体を収録したものです。講師を務めていただいた、筑波大学人文社会系准教授のヴァンバーレン・ルート先生に深く感謝申し上げます。今回のご講演では、先生のご出身国であるベルギーの移民政策についてお話していただきました。ヨーロッパ中央部に位置し、オランダやフランスなどに支配されてきた歴史を持つベルギーでは、オランダ語・フランス語・ドイツ語という3つの公用語、ブリュッセル首都圏・フラーンデレン (フランダース)・ワロンの3つの地域政府を有する連邦制が敷かれています。1920年代以降、難民や移民が漸続的に入ってくるようになり、同国は多様な言語や文化を有する多文化共生社会となりました。移民がより深く社会に溶け込み、社会の一員として活躍できるよう、ベルギーでは公的機関や民間団体による様々な対策が取られています。オランダ語圏の公的機関である市民化局は、移民が市民として社会で活躍できるよう、社会科とオランダ語 (習熟度別) の授業を提供しています。他方、民間の事業では、子どもたちがスポーツの練習をしている間、母親たちがオランダ語を勉強できる「サッカーママ」の例があり、家族以外の交流機会が相対的に乏しいムスリム女性たちの教育に一役買っています。公的サービスでは予算や人手不足などの理由により十分なサービスが提供できないことがありますが、ベルギーでは公的サービスと民間事業を組み合わせることで、支援が届きにくい層にもアプローチする工夫を施しています。本講演会冊子は、近い将来、移民が増えることが予想される日本にとって、社会統合の観点から今後の地域社会のあり方を考えるヒントに満ちています。今後も NipCA プロジェクトの講演会シリーズ「中央ユーラシアと日本の未来」は、基本的にすべて冊子化を予定しておりますので、どうぞご期待ください。

最後になりますが、日頃から筑波大学 NipCA プロジェクトを陰に陽に温かく支えて下さっている公益財団法人日本財団の森祐次常務理事、有川孝国際事業部長、ハフマン・ジェイムズ国際事業部課長、そして日本・中央アジア友好協会 (JACAFA) のヴルボスキ京子会長に対して、衷心より厚く御礼を申し上げます。

梶山 それではお時間になりましたので、ただ今より筑波大学「日本財団 中央アジア・日本人材育成プロジェクト (NipCA)」主催、第19回「中央ユーラシアと日本の未来」公開講演会を開催したいと思います。本日はたくさんの方にご参加いただきました。誠にありがとうございます。私は本日、司会進行を務めますNipCAプロジェクトコーディネーターの梶山です。よろしくお願いいたします。

ご参加の皆さまへのお願いになりますが、聴講中はマイクとカメラを消していただきますようにご協力をお願い申し上げます。また、この講演は後日、オンデマンドで配信されますので、録画されておりますことをあらかじめご了承くださいと思います。

それではまず講師の先生をご紹介します前に、本プロジェクトの専任教員であります山本祐規子准教授より本講演会の趣旨を説明していただきたいと思います。山本先生、よろしくお願いいたします。

山本 ありがとうございます。ただ今、ご紹介にあずかりました、筑波大学人文社会系准教授の山本祐規子と申します。また、「日本財団 中央アジア・日本人材育成プロジェクト」の担当教員も務めております。

それでは私のほうから本日の講演会の趣旨について、簡単にご説明させていただきたいと思います。本日の講演会は筑波大学の「日本財団 中央アジア・日本人材育成プロジェクト」、通称NipCAプロジェクトの主催イベントになります。近年、外国人の増加に伴って、日本社会においても今後、多文化共生のための言語政策が必要となり、ますますそのニーズは高まっていくであろうという共通の認識があり、今回、日本言語政策学会の多言語対応研究会と共催するというかたちになりました。さらに日本・中央アジア友好協会、グローバル・コモンズ機構、地域研究イノベーション学位プログラム、人文・文化学群、社会・国際学群、それから科研基盤研究Cの社会実装のための多様な「やさしい言語」に関する総合的研究などの組織にもご協力いただいて、開催させていただいております。

この筑波大学NipCAプロジェクトでは、中央アジアと日本を自在に行き来し、それぞれの社会の発展のために活躍できる人材育成を行うという目的の下でさまざまな教育、研究活動に取り組んでおります。中でもこの「中央ユーラシアと日本の未来」と題する講演会シリーズは将来のキャリア・パスに立つテーマを選びまして、日本の国内事情、中央アジアの社会諸問題、それからSDGs達成に寄与する世界各国の取り組みなどをより深

く理解する機会をつくっていくという趣旨で実施しております。毎回、さまざまな分野、地域の専門家の方をお招きしております、いろいろな専門家の先生からお話を聞けるというのが本講演会のシリーズの魅力となっております。本講演会のシリーズは今年度もあと数回、また来年度も引き続き行っていきたいと思っておりますので、ぜひ今後ともご注視、ご参加していただければと思っております。

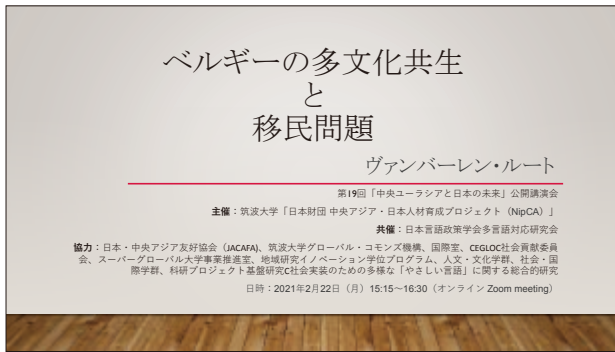
本日の講演会は、筑波大学人文社会系准教授のヴァンバーレン・ルート先生をお招きしております。ヴァンバーレン先生はベルギーのご出身で、初めて来日されたのはもう30年も前とのこと。後ほど詳しい紹介があると思いますが、今回は祖国ベルギーの事情についてお話しいただけるということで、大変楽しみにしております。私からは以上です。

梶山 山本先生、ありがとうございます。それでは私のほうから本日の講師のヴァンバーレン・ルート先生のご紹介をしたいと思います。ベルギー出身のヴァンバーレン・ルート先生は1991年に初めて来日されて、そのときは1年間、東京でホームステイをしながら、ボランティア活動をしておられました。その後、一時帰国して母国で大学を卒業した後、1994年10月に再来日し、国費留学生として筑波大学で研究生を経て大学院に入学されました。2003年11月に学位を取得した後は日本学術振興会外国人特別研究員等を経て、日本大学の理工学部にて9年間ほど英語教育に携わってこられました。2016年9月からは筑波大学で日本語教育に専念されております。

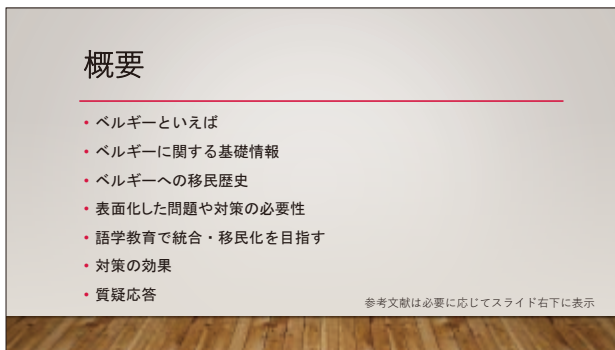
先ほど山本先生から言及がありましたが、つくば市には1994年から在住ということで、もう今年で27年になる日本通の方でもいらっしゃると思います。本日は、ヴァンバーレン先生に出身国でありますベルギーの多文化共生と移民問題について、お話ししていただきます。それではヴァンバーレン先生、どうぞ1時間ほどのお話をお願いいたします。

ヴァンバーレン 梶山さん、ご紹介をありがとうございます。ただ今ご紹介にあずかりましたヴァンバーレン・ルートと申します。今日は多くの方にご参加くださり、少し驚くとともに緊張もしていますが、どうぞよろしくお願いいたします。

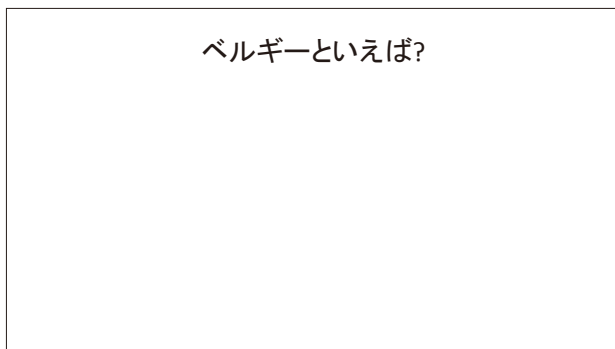
お話に入る前に、まずこの場を借りて、こういった機会を提供してくださったNipCAプロジェクト実務責任者の白山先生にお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございます。そして、準備をしてくださった梶山さ



Slide 1



Slide 2



Slide 3

ん、山本先生、本当にありがとうございました。
 それでは早速、今日の講演会に入りたいと思います。
 画面を共有させていただきます。見えますでしょうか。
 それでは発表させていただきます。

(Slide 1) 今日はベルギーの事情について、ベルギーと移民問題を中心にお話ししたいと思います。ただ移民問題の話をするのではなく、ベルギーはどういった対策をしているのか、そして、その対策の中で出てきた課題は何なのか、といったことについてお話しできたらと思います。

ここで大きくベルギーとありますが、後で紹介するように、ベルギーは公用語によって地域もだいぶ分かれており、今日の話のメインはオランダ語圏、ベルギー北部の地域についての話となります。よろしくお願いします。

(Slide 2) それでは、今日はこういうかたちでお話ししたいと思います。まずベルギーは、よく知られている国である一方、逆にあまり知られていないとも言える国



Slide 4



Slide 5



Slide 6

かと思うので、簡単に紹介したいと思います。

(Slide 3) ベルギーといえば、こういったことをイメージされるでしょうか。本当は皆さんの意見を聞きたいのですが、オンラインのためなかなか難しいですね。まずベルギーといえば、恐らく一番知名度の高い順からいうと、(Slide 4) スイーツ王国ということでしょうか。チョコレートや有名なベルギーワッフルが挙げられるかと思います。そして、もちろんビール王国でもあります。(Slide 5) 私はあまり家では飲みませんが、これは、この前、家で飲んだベルギービールの一つです。本当に種類がたくさんあります。

ビールやスイーツ、チョコレートだけでは終わらないということを少し覚えていただければうれしく思います。(Slide 6) 知名度はそれほど高くありませんが、ダイヤモンド加工、その売買も有名です。世界のダイヤモンドの8割がアントワープで加工・売買されています。長い歴史がありますが、やはり19世紀から20世紀の初



Slide 7



Slide 8

め頃の植民地という背景もあり、いまだにダイヤモンドの加工と売買が盛んです。

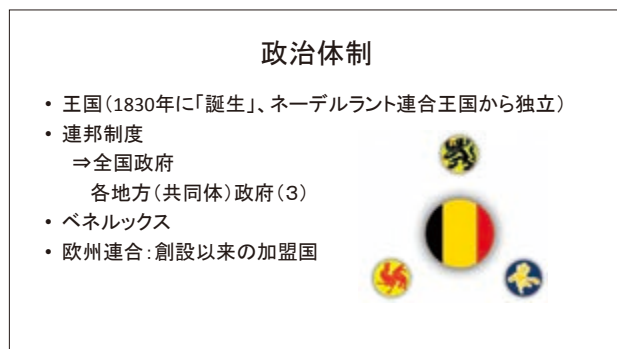
(Slide 7) そして、最近、知名度が上がりつつあるものが一つあります。日本でもこの頃、よくニュースに出ている化学製品です。例えば、ファイザーのコロナワクチンがベルギーで製造されています。もちろんベルギーだけではないのですが、今、徐々に日本に入ってきているファイザーのワクチンはベルギーで製造されたものです。以上は本当に簡単にどういうものがベルギーにあるか紹介したのですが、もう少し (Slide 8) 基礎情報についてお話ししたいと思います。

(Slide 9) もちろんベルギーはヨーロッパにあるのをご存じでしょうが、まず地図のほうで見てみると、このように本当に小さな国なんですね。横に同じスケールの日本の絵を載せていますが、それと比較すると日本の約11分の1となっています。四国と同じくらいでとても小さな国です。そして、ヨーロッパのど真ん中にありまして、昔からいろんな国に占領されたり、他の国と交流があつたりする国でした。それは現在も続いています。

(Slide 10) 次に、政治体制ですが、ベルギーは1830年に誕生しました。ネーデルラント連合王国から独立し、王国となりました。その当初、いわばオランダから独立した主な理由には宗教の違いがありました。ベルギーの多くの人はキリスト教のカトリックだったのに対し、オランダは逆にプロテスタントでしたので、もちろん他にも理由はありましたが、宗教的になかなかうまくいかず



Slide 9



Slide 10

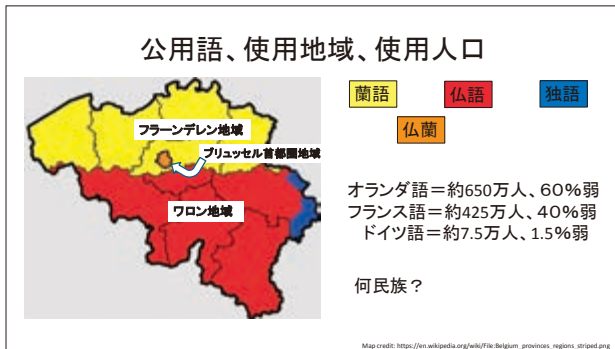
独立することとなりました。

そして、今は連邦制度となっています。まず、全国の政府があり、そして、各地方の政府、共同体政府といいますが、それが三つあります。フラーンデレンの共同体政府、ワロン、フランス語圏の共同体政府、そしてブリュッセルの共同体政府という三つがあります。

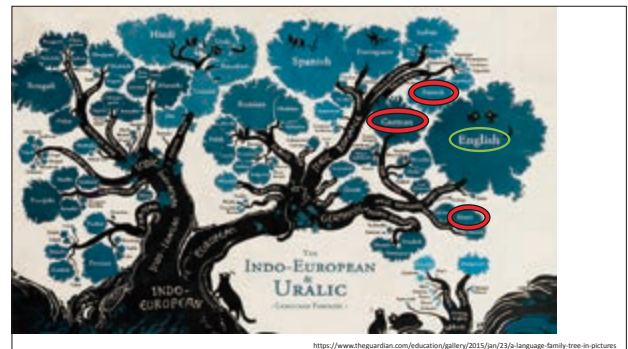
これはベルギー国内の話ですが、その他にベルギーといえ、ベネルックスを思い出してほしいんですね。今、ベネルックスがニュースに出ることはそれほどありませんが、1950～60年代にベネルックス、つまり、ベルギー、オランダ、ルクセンブルクがヨーロッパの中で初めて一つの連合をつくり、そこから実際に欧州連合が段々と大きくなっていきました。

以上が政治体制になりますが、四国と同じくらいの大きさにすぎない国なのに、このように全国の政府と共同体の政府、合わせて四つの政府があります。厳密に言えば、もう少しあるのですが、今日はそこまで話さず、まず、非常に複雑な国だということを頭に入れていただければと思います。

(Slide 11) そして、この小さい国に公用語が実は三つあるんです。ここの地図で色分けしていますが、まず北のほう、フラーンデレン地域ではオランダ語が使用されています。南のほう、フランスに近いほうはフランス語となります。ブリュッセルの首都圏地域にはフランス語とオランダ語が両方使われています。バイリンガルな地域ですね。



Slide 11



Slide 13



Slide 12

そして、それぞれの利用人口ですが、6割弱がオランダ語を使って、4割弱がフランス語を使っています。人数は非常に少ないですが、ドイツに近いわずかな地域ではドイツ語が公用語となります。

このような公用語ですが、では、オランダ語圏に住んでフランス語を使ってもいいかといいますと、公の場、例えば教育や政治関係では全て、オランダ語で行わなければなりません。たいへん厳しい法律があり、自由に地域によって言葉を変えることはなかなかできません。そのため、これからお話しする移民も、住む地域によって習得しなければならない言語が変わってくるはずです。

ベルギーの話になるとよく「ベルギーは何民族なんですか」と日本人に聞かれますが、さっきも言いましたように、ベルギーは多くの国に占領されてきた歴史があり、ヨーロッパのど真ん中に位置していますので、なかなか何民族であるというようにはいえません。私たちはそういう概念を持たない国かと思います。

今、公用語が三つだと説明しましたが、その公用語の関係はどういうものなのか、次のスライドで説明したいと思います。(Slide 12) それぞれオランダ語、ドイツ語、フランス語がありますが、この三つともさかのぼるとインド・ヨーロッパ語族の一部でありまして、そこから分かれて、オランダ語とドイツ語が割と近いゲルマン系の言葉です。そして、フランス語はロマンス諸語の一つとなっています。こういうかたちを見ると、あまりロマンもありませんが、(Slide 13) このような絵を見た

ゲルマン語派・ロマンス諸語の言語的比較

蘭・独と仏が類似する例

日本語: 三	語源
オランダ語: drie	ラテン語 tres
ドイツ語: drei	
フランス語: trois	
英語: three	

(英が参考のため)

Slide 14

ことがあるでしょうか。このようにそれぞれのインド・ヨーロッパ語系の言葉の由来を木で表しますと、ここまですがオランダ語、ドイツ語、英語、フランス語など同じ由来があります。ここで枝分かれして、ドイツ語とオランダ語が一つの枝に、長い一つの枝の、ここで分かれたんですね。そして、英語もその一部となり、近い言語となります。そして、フランス語は近いのですが、やはり別の枝となっていると考えていただければと思います。

ただ、やはりここで同じ由来があるので、似ているところもたくさんあります。言語的に語彙を幾つか比較してみます。(Slide 14) 例えば数字の3を見てみると、オランダ語では drie、ドイツ語では drei、フランス語は trois、英語は three と、音がすごく似ていることが分かります。その語源はラテン語にあるといわれていますので、似ているわけです。

ただし、必ずしもこの三つの言語とも似ているというわけではありません。(Slide 15) 例えばオランダ語とドイツ語、そしてフランス語が類似していない例が、「日にち」の単語です。オランダ語では dag、ドイツ語では tag で、すごく似ていると思います。英語の day も近いですね。それぞれの語源も同じですが、フランス語は語源が違います。

では、オランダ語とドイツ語がほぼ同じではないかと思われるかもしれませんが、そうではありません。もう一つ「クリスマス」という単語を見てみると、それぞれ語源が違います。このような語彙がたくさんあり、語彙

が類似している場合が多いため、どれか一つをマスターすれば他の言語も習得しやすいと思われがちですが、もちろん実際はそんなに簡単にはいきません。

(Slide 16) 移民の場合、移民は英語さえ分かっている、ベルギーの公用語は三つとも習得しやすく、コミュニケーションの壁はないだろうという誤解もあります。まず英語とオランダ語、フランス語は文法がかなり違っているということもありますので、やはり別の言語の習得をする必要が出てきます。そして、さっきも言いましたように、住んでいる地域によって言葉も変わってきますので、やはりコミュニケーションの壁は必ずあります。ですので、公用語は類似しているようで類似していないことを、まずここで覚えていただきたいと思います。後で方言の話も出しますので、さらに複雑になると思います。

ここまでは、ベルギーにはどのような文化があり、どのようなことが使われているかという説明でした。そし

て、(Slide 17) ここからベルギーの移民の歴史についてお話ししたいと思います。このように、主に第1期から第3期に分けることができるかと思っています。もう少し詳しく見ていきますと、(Slide 18) 第1期はほぼ1920年代から、ちょうど100年ぐらい前から第1期が始まり、それは独立してまだ90年弱しかたっていない、ベルギーがまだ若い国だったときに当たります。今もまだ190年ぐらいしかないので、若い国だと思いますが、独立して間もない時期で、もう既に移民が来始めたんですね。

なぜ移民がベルギーに来るようになったのでしょうか。その背景には、鉱業や鉄鋼業の人材不足があり、人手が足りなかったためベルギー政府が積極的に人を呼ぶこととしました。対象は主にイタリアや、ポーランドなど東ヨーロッパの国です。先ほど地図をお見せしたドイツ語がよく使われる地域、そしてそれよりちょっと北のほうの地域に炭鉱などがありました。そこには現在でもイタリア系の方やポーランド系の方が多く住んでいます。

(Slide 19) そして、第2期ですが、1950年代からの時期となります。これは日本の高度成長期ともかなり重なるかと思いますが、やはりその理由は経済成長期でした。第2次世界大戦の後、経済状況が良くなり、また人手が足りなくなっていましたので、労働力が必要とされ、また政府が人を海外から呼び寄せました。このときの移民の出身国のほとんどがスペインやトルコ、そしてモロッコでした。ここで大事なことは、第1期、第2

ゲルマン語派・ロマンス諸語の言語的比較

蘭・独と仏が類似しない例 (1)

日本語: 日にも	語源
オランダ語: dag	古ゲルマン dagaz
ドイツ語: Tag	
フランス語: jour	ラテン語 diurnum
英語: day	古ゲルマン dagaz

蘭・独と仏が類似しない例 (2)

日本語: クリスマス	語源
オランダ語: kerstmis	古蘭語 Kerst + misse
ドイツ語: Weihnachten	高地ドイツ語 Wihenachten
フランス語: Noël	ラテン語 ?ラテン語 natalis
英語: Christmas	古英語 Christ + maesse

(英が参考のため)

Slide 15

- 英語と、オランダ語・ドイツ語・フランス語の語彙が類似している場合が多いため、どれか1つマスターしていれば、残りも習得しやすいと思われがち
- 移民が英語さえわかれば、ベルギーの公用語が習得しやすく、コミュニケーションの壁はないだろうという誤解
- 公用語が「類似しているようで類似していない」

Slide 16

第1期: 1920年代～

独立後
90年弱

- 移民受け入れ開始の背景:
鉱業や鉄鋼業が人材不足
- 対象:
イタリアや東ヨーロッパ(ポーランドなど)

Slide 18

2.ベルギーへの移民歴史*

- 第1期: 1920年代～
- 第2期: 1950年代～1960年代
- 第3期: 1990年代後半～

*Myria Federal Migratiecentrum (ミリア連邦政府移民局) : <https://www.myria.be> (20190214にアクセス)

Slide 17

第2期: 1950年代～1960年代

- 移民の受け入れの背景:
経済成長期
重工業や建設業での労働力
- 対象:
スペインやトルコ、モロッコ

Slide 19

第3期:1990年代後半～

- ・ 移民受け入れの背景：
世界情勢の影響
⇒移民のみならず難民が増加
- ・ 対象：
EU加盟国認可により東ヨーロッパ各国
内戦など、問題を抱える世界各国
例：アフガニスタンやシリア、イラク、ソマリアなど

Slide 20

背景の多様化

- 第1期・第2期:限定された国々
- 第3期:出身国・文化的・宗教的背景が多様化

Slide 21

国籍の多い順*(2016年現在)

移民	難民
モロッコ	シリア
フランス	エリトリア
オランダ	ソマリア
イタリア	イラク
トルコ	アフガニスタン
コンゴ民主共和国(元植民地)	イラン
⇒第1期および第2期に主だった国々 ⇒ベルギーが緊密な関係を持つ諸国	⇒ヨーロッパでの難民受け入れと同じ傾向 ⇒人数・国籍の増加

*Lafleur, Jean-Michel, Marfouk, Abdeslam & Fadil, Nadia (2018) Migratie in België in 21 vragen en antwoorden.

Slide 22

フランドレン地域(オランダ語圏)
全人口と他国籍人口の比較*

	2007	2017	2020
全人口	612万人	652万人	663万人
他国籍	33万人(5.4%)	55万人(8.4%)	62万人(9.3%)

移民背景を持つベルギー国籍を取得した外国出身の人を「他国籍」に含めると、割合が20.5%に上る

アントウェルペンのような大都会など：割合が50%

ベルギー全体も類似した傾向:2021年1月現在**
外国籍12.4%、移民背景を持つベルギー国籍19.7%、合計32.1%

*Integratiebeleid Vlaanderen (2018) Lokale Inburgerings- en Integratienotitie 2018 - Vlaams Gewest en Brussels Hoofdstedelijk gewest. <http://integratiebeleid.vlaanderen.be/lokale-inburgerings-en-integratienotitie-2018-vlaams-gewest-en-brussels-hoofdstedelijk-gewest> (20190361;阿克苏), <http://www.statistiekvlaanderen.be/toespraak-naar-nationaalen> (20230221;阿克苏).

Slide 23

期は政府から海外への呼び掛けがあつて、そういったベルギーへの移民があったということです。

(Slide 20) ただし、第3期、1990年代後半からなのですが、その背景には世界情勢の影響がありました。この時期になると、移民だけではなく難民が増加してきました。EU加盟国の認可によって東ヨーロッパの各国から移民がやってきました。ベルリンの壁の崩壊によるドイツ合併の後、多くの国がEUに加盟しました。ヨーロッパ内では移動の自由がありますので、たくさんの人々が、経済難民とまではいかなくとも、やはり経済的により良い生活を求めてベルギーに移住してきました。もちろん、ベルギーだけではなく、オランダやフランス、ドイツなどにも似たような流れがありました。

さらに内戦などの問題を抱える世界各国から多くの難民がベルギーに入ってきました。国としてはアフガニスタンやシリア、イラクなどが挙げられます。(Slide 21)

第1期、第2期は政府が決めた国、しかも限定された国から移民が入ってきましたが、第3期になると出身地や文化的、宗教的背景が非常に多様化してきました。

(Slide 22) 表に、移民と難民の国籍を多い順に並べてみました。これは2016年現在、ほぼ5年前のデータになりますが、移民の多くはモロッコやフランス、オランダ、イタリア、トルコなどでした。この国を見てみると、第1期と第2期に主だった国々であります。ベルギーはそういった国々と緊密な関係を持っていました。

ただし、難民はシリアやエリトリア、アフガニスタン、

イランなどの国で、これはヨーロッパ全体の難民受け入れと同じ傾向ですが、人数も国籍も急激に増加していて、かなり問題が出てきました。やはり受け入れたくないという気持ちなどを持っている人が非常に多かったのです。

「多い」とか「人数が増えた」といってもなかなか想像がつかないと思いますので、次のスライドで人数をまとめてみました。(Slide 23) ここに2007年、2017年、2020年のデータがあります。このデータはベルギー全国ではなくフラーンデレン地域、オランダ語圏のもので、先ほどの地図の黄色い地域ですね。この地域の全人口は大体、ベルギーの人口の6割です。そして、他国籍の人口を比較してみました。2007年の場合はほぼ612万、そして少しずつ人口が増えます。でも、同時に他国籍の人口も増えています。33万から10年後には55万となり、さらに数年後には62万となりました。

数字を見るだけではなかなか想像が付きませんが、全人口の 5.4% だったのが、2020 年になって 9.3% の人々が外国籍、他国籍の人々となっています。この国籍がベルギー国籍と違うというのは、まだ移民してきて間もない人たちということです。ベルギーは多くの場合、移民して、手続きを終えれば、ベルギーの国籍を持つこともできますので、これはまだ他国籍を持っている人たちです。

この他国籍に移民背景を持つベルギー国籍を取得した外国出身の人も含めると、この割合、この9.3%が20.5%に上ります。これはフラーンデレン地域のほぼ5

人に1人が外国籍もしくは移民の背景を持つ人たちです。そして、さらにアントウェルペンなど大都会などを見てみますと、その割合が5割まで上ります。2人に1人が外国籍もしくは移民背景を持つ人となります。

ベルギー全体、全国も類似したような傾向であります。2021 年、まだ新しいデータですが、外国籍が 12.4%、そして移民背景を持つベルギー国籍が 19.7%、合わせて 32%となっています。現在のベルギーでは、3 人に 1 人ぐらいが外国籍もしくは移民背景を持っている人になります。

私は、紹介にもありましたように 94 年から日本に住んでいまして、今、ベルギーに帰って母の住んでいる町に帰るとします。そこはオランダにとっても近い町でオランダ語圏です。個人的に、人は自由にどの言語を使ってもいいと思っていますが、その町ではオランダ語がなかなか聞こえてこないぐらい、多くの外国の方がいます。初め、2000 年の頃だとやはりアフリカ系の方が多かったのですが、ここ 10 年間で東ヨーロッパからの移民が非常に多く見受けられるようになりました。そのため、たいへん多文化的な町となっています。

この数字、これはフ랑ーデン地域の数字ですが、日本の人口と比較してみました。(Slide 24) 2018 年現在の日本の人口は 1 億 2,640 万人です。ほぼ同じ時期に外国籍の人は 283 万人ほどでした。割合でいうと、2.3%で 49 人に 1 人です。ベルギーでは人口の 2.5 割、場合によって 3 割まで上りますが、約 5 人に 1 人と、だいぶ数字が違うんですね。日本にはまだまだ外国の方が少ないということになります。

このような数字になってくると、やはり異なる文化、価値観、言語を持つ人々がどのように共生できるかというような問題に直面することになります。(Slide 25)

表面化した問題や対策の必要性が出てきて、これからそれらについてお話ししたいと思います。

(Slide 26) まず第1期、第2期の移民の歴史の中では、問題はそれほど感じられてきませんでした。出身国も非常に限られていました。一時期、ベルギーに移民してきて、帰国する予定の人もありましたが、なかなかそうはいきませんでした。ですが、それほど問題はありませんでした。

ただし、1990年代から移民の背景の多様化、そして人数の増加に伴い、国内で移民との対立が非常に高まってきました。社会に統合する必要性やそのための対策の不足が表面化してきました。それまでに政府が「必ずベルギーの社会に統合しなければならない」という要求は

してきませんでした。それほど問題もありませんでしたが、やはり少しずつ対立が目に見えてきました。

こうした対立について、私はそこまで研究はしていませんが、やはり自分の経験から言うと、まず右翼派政党の支持率が非常に増加しました。それは1990年代から見られ、今でも似たような状況です。毎回、選挙のときにどうなるか、右翼を支持しない人々がびくびくするぐらい強くなってきています。それはベルギーだけではなく、ドイツもそうですし、オランダも似たような問題です。ので、ヨーロッパの中では移民の問題は必ずあるわけです。例えば人種差別事件があり、思い出するのが駅で電車を待っている人が知らない人にホームに落とされたなど、そういった事件が残念ながら起きています。

さらに、例えばジェンダーに関する価値観はかなり異なるため、そういう意味で統合する必要性は確かにあります。多くの移民の場合は、女性は家にいるべきで、独り歩きはしてはいけない、教育もあまり受けてはいけない

日本の人口との比較

- 2018年現在の日本人口: 126,443,000人*
 - 2019年6月現在: 外国籍: 2,829,416人**
- ⇒日本の人口の2.3% (約49人に1人)
- vs. ベルギーの人口の20.5% (約5人に1人)

異なる文化・価値観・言語をもつ
人々がどのように共存できるか

**<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00250012&tstat=000001018034&cycle>

Slide 24

3.表面化した問題や対策の必要性

Slide 25

- ・ 第1期・第2期:問題はそれほど感じられてこなかった。
- ・ 1990年代～:移民の背景の多様化および人数増加に伴って、国内で移民への対立が増加し、社会に統合する必要性やそのための対策の不足が表面化した。

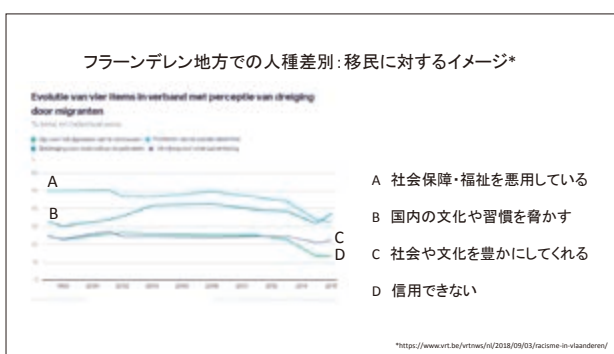
右翼派政党の支持率増加
人種差別事件
ジェンダーに関する価値観
など

Taalenin: Inburgering in Nederland en Vlaanderen: Wettelijk kader. <http://taai.universum.org/inhoud/menuejeer-alla-et2/wettelijk-kader> (20190306にアクセス)

Slide 26

という考えもまだ残っているので、これはベルギーの価値観とはかなり相反するので、そういう意味では統合の必要性、integrationが必要となります。

こういった人種差別の事件という話をデータから話しますと、(Slide 27) このデータはフラーンデレン地方での移民に対するイメージの数字となります。オランダ語になっていますので、訳を付けました。このグラフは1998年から2016年の間のデータとなります。まずこの一番上のラインですが、これは移民に対するイメージです。大体50%から、ここは30%に近づいていますが、ベルギー人で移民の方が「社会保障もしくは福祉を悪用している」という考えを持っている人は非常に多いんです。大体、移民の問題というのは、移民がわれわれ国民の仕事を奪うという考えがどの国にもあるかと思いますが、このデータはそれを示しているかと思います。そして、Bの線が、少し上がったたり下がったりしていますが、「国内の文化や習慣を脅かす」という考えを示し、それはやはりまだ根強いですね。このCはBと真逆で「社会や文化を豊かにしてくれる」という項目です。移民の文化によって、私たちの国の文化が豊かになるという考えは横ばいで大体25%で、そう考えている人は残念ながら少ないです。そして、最後は「移民が信用できない」という残念な考えの方も、長い間、25%ぐらいでしたが、最近はうれしいことに10%、12%前後となっています。このようなデータは、移民へのイメージが残念ながらあまり良くないということを示しています。



Slide 27

- 2003年：フランクフルト共同連邦政府がはじめて**統合および市民化**に関する法令を發布し、いくつかの修正を経て、2019年1月18日の法令が現時点で最新のものである。

Taakniek: Inburgering in Nederland en Vlaanderen: Wetenschappelijk kader. <http://taaknieknieuws.org/vbood/leeswijzer-aft-nt2/wetenschappelijk-kader/> (20160306) (Aankruis)

Kruispuntbank Wetgeving (2016) Decreet tot wijziging van diverse bepalingen van het decreet van 7 juni 2013 betreffende het Vlaamse integratie- en inburgeringsbeleid. http://www.ejustice.just.fgov.be/cgi/article_body.pl?language=nederlands&numaerypub_date=19-02-11&numac=2016040565 (20160307) (Aankruis)

Slide 28

そうしますと、(Slide 28) フラウンデレン共同体政府が初めて、2003 年に統合および市民化に関する法令を發布して、幾つかの修正を経て、2019 年の法令が現時点の最新のものとなっています。ここでいろいろな新しい言葉が出てきているかと思いますが、少しずつ定義していきたいと思います。

(Slide 29) 統合は、日本でもよく使われている integration の意味ですね。フラーンデレン地方で統合はどのようなものなのかというのは、法律を訳してみましたが、移民が社会の構成員として参加および貢献できるように、個人、グループ、コミュニティ、行政機関などがそれぞれのやり方で関与し、移民が明示された権利と義務を認めたり従ったりするように、両者が建設的な方法で取り組む動的かつインタラクティブなプロセスを意味する。法的、社会経済的、そして社会文化的レベルでの分かり合いや譲り合いをベースに、移民と現地人が互いを尊重しながら協力し、個々人やコミュニティが分散した状態から誰もが参加や貢献できる、団結した状態の社会をつくり出すことを統合した社会の構築、と定義できます。ここではやはり、integration というのは移民だけの問題ではなく、現地人もお互いに協力して、一つにまとまった団結した社会ということを指しているはずだ。

(Slide 30) ここで市民化という単語を使いましたが、これはまだ日本ではあまりなじみのない単語だと思います。市民化というのは、個々の移民が新しい社会に統合

「統合」の定義(法律に基づく)

- ・「統合」(蘭Integratie)とは、移民が社会の構成員として参加および貢献できるように、個人、グループ、コミュニティ、行政機関などがそれぞれなりに関与し、移民が明示された権利と義務を認められ従ったるように、両者が建設的な方法で取り組む、動的かつインタラクティブなプロセスを意味する。法的、社会経済的、そして社会文化的レベルでの分かれ合いや譲り合いをベースに、移民と現地人が互いを尊重しながら協力し、個々人やコミュニティが分散した状態から、誰もが参加や貢献できる団結した状態の社会を作り出すことを、統合した社会の構築と定義できる。

Slide 29

「市民化」の定義（法律に基づく）

- ・「市民化」(蘭Inburgering): 日本語としてまだ定着度が低い用語
- 個々の移民が新着の社会に統合されていく過程のなかで、専門分野、教育分野、および社会的分野の欠けからざる人材として活躍し、いわば彼ら移民が市民になるプロセスである。

Slide 30

統合・市民化: 言い換え

- **統合**: 出自の文化の特徴やそれに伴うアイデンティティの維持を重視すると同時に、移民した社会との関係作りも重視する*
- **市民化**: 移民のレッテルがなくなる過程を指し、統合より一歩進んだ概念で、移民した社会の一員として参加できるまでのプロセス

市民化はシティズンシップ** (市民性・市民権→市民の資格(権利と義務))とは少し異なる
最近、Social cohesion***も使われる。用語の適正は今後の研究課題の1つとする。

*Berry, J.W. (1997). Immigration, Acculturation, and Adaptation. *Applied Psychology: An International Review*, 46(1), 5-34. に基づく
**http://csd.osaka-u.ac.jp/user/rosalito/14_global_citizenship.html
***<https://www.sahinstitute.nl/en/>

Slide 31

Agentschap Integratie en Inburgering 「統合および市民化局」

- 2015年に設立
- フラウンデレン共同体政府機関の1つ
- ⇒ 政策と計画は全国レベルではなく地域レベルで実施される
- 統合講習の実施
- 講習の内容
 - 社会科とオランダ語
 - キャリア・パス支援

Slide 32

「市民化講習」

- 科目が2つ: 社会科・オランダ語
- 両科目を合格しなければ「市民化講習」合格証明書が発行されず、在留資格申請や保持*ができなくなっている(2016年2月29日以降**)

* 在留資格申請・保持について <http://www.agi.be/nieuws/behoud-verblijf-wordt-aftandelijk-van-integratie-inburgering> (20160307にアクセス)
**https://integratie-inburgering.be/nieuws/default.asp?cms=News/20160325_inburgering_Agi_2017.pdf (20160307にアクセス)

Slide 33

「市民化講習の詳細: 社会科」

- 第1部: **社会科** (60時間の講習)
 - 実施機関: 統合および市民化局
 - 使用言語: 15か国語(英、仏、西、露、アラビア語、タイ語、ヒンディー語 etc.)

Slide 34

されていく過程で専門分野、教育分野、および社会的分野の欠くべからざる人材として活躍し、いわば彼ら移民が市民になるプロセスです。十分に社会の中に打ち解けて活躍できることを市民化と呼んでいます。

(Slide 31) この用語でいいのかどうか、まだいろいろ考えてはいますが、統合と市民化を言い換えてみると、統合というのは出自の文化、もともと生まれた、移民がもともと住んでいた、育っていた文化の特徴やそれに伴

うアイデンティティの維持を重視すると同時に、移民した社会との関係づくりも重視するという。そして、市民化というのは、移民のレッテルがなくなる過程を示し、統合より一歩進んだ概念だと思っています。移民した社会の一員として参加できるまでのプロセスを指しています。

ただし、この市民化は、例えばよく聞かれるシティズンシップ、市民性や市民権など市民の資格、権利と義務とはまた少し異なっていると思っていまして、最近、「Social cohesion 社会的つながり」という用語も使われていますが、やはりこの用語については少し、今後の研究課題にできたらと思います。

大事なのは、移民が新しく住み着いた社会でどう活躍できるかというところで、そのための手伝い、協力が必要になります。彼らは来たばかりだと右も左も分からないので、やはりいろいろサポートが必要となります。

(Slide 32) そこで、ベルギーでは「統合および市民化局」が2015年に初めて設置されました。これはフラウンデレン共同体政府の機関の一つであります。やはり政策や計画は、全国レベルではなく地域レベルで実施されます。例えばフランス語圏やブリュッセルなどにもこの局はありますが、全く違うかたちで運営されているので、今日は、フラウンデレン、オランダ語圏についてのみ説明したいと思います。

(Slide 33) この市民化局は、市民化講習を実施しています。その内容というのは、社会科とオランダ語の二つの科目を用意しています。そして、キャリア・パス支援も行っています。この二つの科目に合格しなければ、市民化講習合格証明書が発行されません。そして、合格していなければ、在留資格申請や保持ができなくなっています。以前、最初の頃は参加さえしていれば十分だったんですけども、今は社会科、フラウンデレン地方の社会はどういうものかを把握して、オランダ語が話せるようにならなければ、在留資格の申請もできないし、既に持っている人は保持し続けることもできなくなっています。

(Slide 34) まず社会科について、簡単に説明します。社会科というのは60時間の講習となります。実施機関は先ほど説明した「統合および市民化局」となっています。ここが面白いと思うのですが、使用言語、講習の際に使われている言語は15か国語が用意されています。そのため、ほとんどの移民が自分の言語、育った言語、母語で講習を受けることができます。母語でなくても、母語により近い言語で講習を受けることになっています。

やはりベルギーに移民してきたばかりの頃なので、まだオランダ語を習得できていませんが、社会や習慣などについて学ぶ必要がありますので、このように言語の選択肢がたくさん用意されています。

(Slide 35) 内容としては、ベルギーの歴史や地理、政治制度などが教えられます。そして、さらにもう少し実践的なものでは、仕事探しをどうすればいいか、子どもの教育はどのようになっているのか、といったものもあります。そして、日本ではそういった教育は必要ないかもしれませんが、公共交通の利用方法などの説明もあります。日本ほど便利な公共交通はなく、ベルギーはもう少し複雑になっているので、こういった内容もあるんです。

(Slide 36) もう一つ、社会科の第2部は、キャリア・パス支援です。どういった目標を持っているかについて移民と担当者が、就職するのか、高等教育に進学するかについて話し合いながら、個別行動計画を立てて、

その実施に取り掛かるのが社会科の第2部のキャリア・パス支援となります。

ここまでは社会科なのですが、住み着いた国に打ち解けるため、十分に活躍できるためには、やはり言葉がコミュニケーションの第一歩となりますので、ここでは語学教育で統合、市民化を目指すという対策について説明したいと思います。それはもちろんさっきの二つ目の科目、(Slide 37) オランダ語科目の話となります。

統合および市民化局は市民化講習の中でオランダ語科目を設置して、(Slide 38) その実施機関は統合および市民化局ではなく、その局が紹介する四つの語学教育機関のうちの一つが実施機関となります。移民前経験や語学教育の背景に応じたレベルにプレースメントテストのかたちで分けられます。例えばあまり読み書きができない人ももちろん移民して来るため、適した機関で勉強してもらいます。そして、大学を卒業して、例えば英語がとてもしゃべれる人は、大学レベルの教育機関でオランダ

「市民化講習の詳細:社会科」

- 第1部: **社会科** (60時間の講習)
- 内容:
 - 1) ベルギーの歴史や地理、政治制度、社会保障制度、移民社会の現状など
 - 2) 仕事探し、子供の教育、公共交通の利用方法など

Slide 35

「市民化講習の詳細:オランダ語科目」

- 実施機関:
統合および市民化局が紹介する4つの語学教育機関のうちの1つ
- 移民前経験や語学教育の背景に応じたレベル

Slide 38

「市民化講習の詳細:社会科」

- 第2部: **キャリア・パス支援**
個々人が持つ目標(就職や高等教育進学など)にたどり着くための個別行動計画

Slide 36

「市民化講習の詳細:オランダ語科目」

- 実施機関の詳細:
 - 1) Centrum voor Basiseducatie (CBE)
基礎教育センター
 - 2) Centrum voor Volwassenenonderwijs (CVO)
成人教育(生涯学習)センター
 - 3) Universitair Talencentrum (UTC)
大学レベル語学センター
 - 4) Onthaalonderwijs voor anderstalige nieuwkomers (OKAN)
非オランダ語母語話者新規移民向け教育

Slide 39

4.語学教育で統合・移民化を目指す (オランダ語圏を中心に)

Slide 37

「市民化講習の詳細:オランダ語科目」

- 使用言語: 標準オランダ語
- 内容:
CEFRのA2レベル*が到達目標

*古島茂、大橋理恵ほか(訳・編)(2004)『外国語教育(2)外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通学習資料』朝日出版社

Slide 40

移民用オランダ語教育の実例

- 1) 公式プログラム: 市民化講習の一環
 - ① OKAN 非オランダ語母語話者新規移民向け教育
 - ② (ブリュッセル市のオランダ語の家)
 - ③ 基礎教育センター
- 2) 公式プログラム: 市民化講習ではないもの
 - ④ Vokans
- 3) 非公式プログラム: 市民化講習ではないもの
 - ⑤ バディ制度
 - ⑥ サッカーママ

Slide 41

①(公) OKAN

非オランダ語母語話者新規移民向け教育

	小学校	中等教育(中高一貫教育)
期間	1-2 年間	1 年間
方法	特別学級 もしくは 一般の教室内	特別学級
実施義務	○ 要求があれば実施する 義務がある。	X 2019年4月現在92校で 実施

Slide 43

①(公) OKAN

非オランダ語母語話者新規移民向け教育
→ 対象: 就学義務対象者(6~18歳)

Slide 42

①(公) OKAN

- 内容: 細かい学習指導要領*

→ 目的: 一般の学級に進学

*OKAN到達目標 (20180317にアクセス(<http://data.ondewijs.vlaanderen.be/documenten/bestand.aspx?id=9953>))

Slide 44

ダ語科目を勉強することとなります。

(Slide 39) 全部で四つの機関がありまして、基礎教育センター、成人教育センター、大学レベル語学センター、そして非オランダ語母語話者新規移民向け教育という機関です。後で詳しく説明しますが、これは主に就学義務年齢の子ども向けのプログラムとなります。ですので、このプレースメントテストを受けて、このうちのどれかの機関で勉強することになります。

(Slide 40) このオランダ語科目のときの使用言語は、社会科は 15 カ国ぐらいありますけれども、さすがにこれはオランダ語なので、標準オランダ語で行われます。そして、内容としては CEFR の A2 レベルが到達目標となっています。CEFR というと、ヨーロッパ共通参照枠で言葉のレベルを指していますが、A2 レベルはまだ初級者レベルですね。なので、それほど高いレベルは求められていませんが、普通にあいさつができて、必要なことを聞くことができ、答えを理解できることが A2 レベルを指しているかと思いますが、それが到達目標となります。

(Slide 41) ここから幾つかオランダ語教育の実例を紹介したいと思います。プログラムが本当にたくさんありまして、まず公式プログラムがあります。それは市民化講習の一環です。例えばこういったようなものです。①と③は先に既に紹介したものです。ブリュッセルにあるオランダ語の家はすごく面白い取り組みですが、今日は時間の関係で省略させていただきます。さらに他にも

公式プログラムがありますが、市民化講習ではないものです。市民化講習を実施する権利を持っていないプログラムもあります。それを一つ紹介します。そして、さらに非公式プログラムがあります。市民化講習の一環ではありませんが、移民が好んで参加するものではありませんので、少し紹介したいと思います。

(Slide 42) まずこの通称 OKAN といいますけれども、非オランダ語母語話者新規移民向け教育となります。対象は就学義務の 6 歳から 18 歳の間の若い子どもたち。それは場合によって両親と一緒にベルギーに移民してきた人たち、もしくは最近は多くの例がありますが、1 人で難民として、国から逃げてきて、ベルギーに移民してきている親がいない子どもたちももちろん含まれています。

(Slide 43) 表にまとめましたが、小学校の年齢、6 歳から 12 歳の間の場合は、このプログラムの期間は 1 年から 2 年の間です。必要に応じて 1 年か、子どもの上達によって延びることはあります。方法としては、特別学級が設けられるか、一般教室の中で行われるかのどちらかです。小学校の場合では、要求があれば、小学校はこういう OKAN を実施する義務があります。それとは違って中等教育、ベルギーは中学と高等が一貫校となっていて、12 歳から 18 歳の間が中等教育となっていますが、そこでは勉強する期間は 1 年で、必ず特別学級が設けられます。ただし、全ての中等教育の学校はそういう特別学級を設ける義務はなく、やりたい学校だけがやって

③(公)Centrum voor Basiseducatie (CBE) 基礎教育センター*

- ・フラーンデレン地域:13センター、60弱の分校
- ・対象:就学経験が少なく読み書き計算ができて文章の内容を十分に理解できない機能的非識字者
→移民とは限らない!
- ・内容:
 - 1) 数学
 - 2) ITスキル
 - 3) 社会科
 - 4) 語学

*CBEに関する数字 (2010/03/17にアクセス)https://issuu.com/basiseducatie/docs/cbe_memoandum2019_210x148_def_

Slide 45

③(公)基礎教育センター 1つのセンターの活動紹介: OSBOW



Slide 46

③(公)基礎教育センター: OSBOW

- ・教育アプローチ
 - 10人以下の少人数教育
 - 遅いスピード:480時間の学習でA2レベル
 - 勉強のやり方を教える
- ・内容
 - 文法の基礎
 - 日常生活に直面する場面(例:病院、市役所等)

Slide 47

③(公)基礎教育センター: OSBOW

- ・理念
 - 目標1:市民化講習合格証明書
 - 目標2:貧困や無職状況のリスクを懸念し、語学教育と同時に就職に必要なとされるスキルの育成によって就職可能な人材の育成
 - 語学力を身につけることによって自らの力で人生の可能性を広げること(就職への近道や子供の学業をサポートできること)が動機づけとなる。

Slide 48

③(公)基礎教育センター: OSBOW

- ・参加者の満足度が高い(勉強する喜び・クラスメートとの出会いによって社会とのつながりの大切さを感じる)
⇒センター内もしくはほかの機関で勉強の継続

Slide 49

OSBOW



基礎教育センターの
パンフレット:
2015-16年度のテーマは
「勉強すれば強くなる」



Slide 50

います。例えば2019年にはオランダ語圏の中では92校ぐらいがありました。なので、この数字は少し変動がありますけれども、90校前後ぐらいですね。(Slide 44) 内容としては、非常に細かい学習指導要領があって、目的は一般の学級に進学することです。

(Slide 45) 基礎教育センターについても一つ例を挙げたいと思いますが、かなり多くの学校があります。ただし、対象は移民とは限りません。機能的非識字者の方が参加する学校です。内容が数学やITスキル、社会科、語学などが挙げられます。

このように、一つの例を挙げたかったのですが、少し他にも話をしたいことがありますので、飛ばしたいと思います。(Slide 46～50)

ただし、この学校というか、この教育センターの面白いところは、語学力を身に付けることだけではなく、自分の人生の可能性をより広げることを非常に重視している学校だったところです。数年前に訪れたのですが、非常に面白い取り組みでした。

もう一つが、これは公式プログラムではありますが、(Slide 51～55) 市民化講習の一環ではないものです。すみません。課題(Slide 56)についてお話ししたいので、割愛させていただきます。

(Slide 57) 非公式プログラムはバディ制度といいまして、バディとは相棒ですね、いろんなアクティビティをやることで、移民も現地人も利益があるようなプログラムです。

(Slide 58) そして、さらに非公式プログラムの一つで、特に面白い取り組みだと思ったのは「サッカーママ」というものです。お母さんたちがサッカーをするのではなく、子どもたちがサッカーの練習をしているときや、部活とか社会のチームで練習しているときに、お母さんたちがオランダ語を練習するというものです。さっきも言いましたように、文化によって女性は一人で出掛けるのはいけない、知らない男性と会ってはいけないといった、いろいろなルールがあるため、このプログラム

④(公) Vokans *



NPO Vormings- en Opleidingskansen、Vokans
教育・職場訓練支援協会

*<https://vokans.be/> (20190427にアクセス)
ロゴ: <https://vokans.be/wp-content/themes/vokans/images/vokans-logo.svg>

Slide 51

公式プログラムの課題

OSBOW	Vokans
ウェイティングリスト	知名度が低い
参加者の多様性	企業の協力不足
教員の柔軟性	職業訓練兼語学研修の種類
	方言

Slide 56

④(公) Vokans

- ・フラーンデレン全地域に56区局
- ・市民化講習実施権限なし

Slide 52

⑤(非公式) バディ制度

- ・バディ=Buddy: 仲間・相棒・友達
- ・内容: 月1回～数回アクティビティを行う
- ・目的:
 - 移民: 語学力向上・現地の文化と習慣に触れ合い慣れる
 - 現地人: 持っていた偏見を見直す機会
- ・実施例:
 - 市単位
(例: メヘレン市*)
 - 難民受け入れセンター単位
(例: アーレンドンク町)**

*メヘレン市のバディ制度(20180708にアクセス)
https://www1.mil.be/nieuws/mede-schiedu2018_0516.html
**難民受け入れセンターのバディ制度 (20190427にアクセス)
https://www.fndasil.be/nl/nieuws/vee-zoeken-buddy?fbclid=IwAR2g2K6Cm5C5dgmV8p77Jc4e4848J8d8gucK3K_P7Ck5SHG3gHqQ2Gc

Slide 57

④(公) Vokans

- ・対象: 事業主・従業員・就職希望者
- ・焦点は支援を必要とする就職弱者であり、その多くはCBE受講後公共職業安定所の推奨を受けた非オランダ語話者

Slide 53

⑥(非公式) サッカーママ*



*Peter Schoenaerts, vzw Fast Forward en het Agentschap Integratie en Inburgering (2018) Scoren met Taal: Oefenkanen Nederlands in de Sportclub. (PDF)

Slide 58

④(公) Vokans

- ・内容: 実践的なオランダ語習得と同時に現場での経験を重視
 - 1) 就職面接の練習
 - 2) 一定の職種に必要とされるスキルと(方言を含む)関連語彙・表現の習得を目指す職業訓練兼語学研修
 - 3) インターンシップや実際の就職のあっせん

Slide 54

5. 対策の効果は？

- ・その1: 方言が対策・市民化の妨げ
 - 公用語が3つという複雑な状況
 - さらに、方言の数が多い

Slide 59

Vokans



Slide 55

オランダ語圏での標準語と方言の隔たり



例① 動詞: 話す	
標準語	spreken
西部(の一部)	proate(n)
北部(の一部)	klappen
東部(の一部)	kalle
例② 人称代名詞1人称複数形	
標準語	wij, we
西部(の一部)	wieder
北部(の一部)	wullie
東部(の一部)	ve, weer, wea

例は次のページを参照: <https://www.mijnwoordenboek.nl/dialecten/>

Slide 60

広く見かける方言の使用:ポスターなど



Slide 61

市民化講習で習得する言語:理想
標準オランダ語

職場での使用言語:現実
方言

ルーマニア出身の移民の証言*:
職場では、いつも方言が耳に入るため、せっかく習得した標準オランダ語のスキルが悪化している。
職場でのフランス語使用がフランドレン地方で(法律で定められ、発表者追記) 禁じられている。同様に方言も禁じられようか。相手に対する礼儀作法ではないでしょうか。

*<https://www.standaard.be/soldeer/2017/02/03/03149482>

Slide 63

広く見かける方言の使用:標識



<https://discoverbrussels.files.wordpress.com/2016/05/4.jpg>

Slide 62

5. 対策の効果は？

- ・その2: 継承語 (ホーム・ランゲージ) の使用

Slide 64

は子どもたちがサッカーをしている間に女性だけで、ママたちだけで集まって、オランダ語の練習をするという場を提供しています。

(Slide 59) そういった語学教育などの対策はたくさんとられていますが、実際の効果がどうなのかというのは大事なところ。まず一つ、大きな問題は方言がその対策や市民化の妨げとなっていることです。公用語が三つあるという複雑な状況の国です。加えて非常に多くの方言があります。

(Slide 60) オランダ語の標準語と方言の隔たりを少しまとめましたので、二つ例を挙げます。(Slide 61) 動詞の「話す」、そして人称代名詞一人称複数形の「私たち」という意味ですが、それぞれの地域によって、スペルを見るだけでも完全に発音が変わってきます。移民は何を習得すればいいのか。公用語か。あるいは方言か。非常に難しいところですね。実際に方言は町の中でも非常によく見掛けます。ここは一人称代名詞、ここは一人称代名詞と動詞の「話す」といったポスターや標識などがあります。(Slide 62) さらにこれはブリュッセルの標識なのですが、これは全て、方言です。同じ広場の名前ですが、全て違う言い方、方言で表しているの、移民にとって非常に複雑な状況だと思います。

(Slide 63) 市民化講習では、習得する言語はもちろん標準オランダ語です。それは理想なのですが、職場での使用言語は方言となる場合が非常に多いです。ルーマニア出身の移民の証言で、せっかく標準オランダ語を勉

家庭でオランダ語を使用しない子供の割合*,**

	2009	2012	2017	2019
5歳以下 (幼稚園児)	17%	N/A	N/A	25%
6歳~12歳 (小学生)	13%	17.6%	21.5%	22%

対策:

- 1) 就学義務年齢が2020年度6歳から5歳に下げられた。
- 2) 学習指導要領にオランダ語への焦点

*<https://www.standaard.be/soldeer/2021/01/13/98743843>
**https://www.gps.be/cordinat/50190325_04279523/steeds-meer-leerlingen-spreken-geen-nederlands-thuis

Slide 65

強しても、職場では方言が使われているから、標準オランダ語のスキルが悪化している、というものがあります。なぜベルギーでは地域で分かれて言葉が決められているのに、例えばオランダ語圏に住んでいるとフランス語は職場で禁じられているのに、方言は禁じられていないのか、というわけです。

日本でも類似した状況が報告されています。例えば技能実習生が介護施設などで働き、標準の日本語を覚えても方言で話されて、介護している方の言葉がなかなか聞き取れなくて話が進まないというような、似たような状況があることをここで紹介したかったわけです。

(Slide 64) そしてもう一つは継承語、いわゆるホームランゲージ、家庭内で使う言葉についてです。(Slide 65) 家庭の中ではオランダ語を使用しない子どもたちの割合が増加している傾向にあります。子どもたちはベルギーに移民したときに、OKAN でオランダ語を勉強しますが、家庭の中ではなかなかオランダ語を使わない子

5. 対策の効果は？

- その3：貧困との関連

Slide 66

貧困に陥るリスク*、2020年10月現在

- 国籍と貧困との関連
 - ベルギー国籍：7%
 - EU国籍：18%
 - EU以外の国籍：30%
- 教育と貧困との関連
 - 低教育度（義務教育（18歳）を資格なしで終了）：19%
 - 中教育度（義務きょう教育・高専の資格取得）：9%
 - 高教育度（大学卒かそれ以上）：4%

*<https://www.statistiekvlaanderen.be/nl/bevolking-onder-de-armoederempel>

Slide 67

貧困に陥るリスク*、2020年10月現在

- 国籍と教育との関連

	低教育度	中教育度	高教育度
ベルギー国籍	13%	40%	47%
EU国籍	22%	40%	38%
EU以外の国籍	39%	35%	26%

*<https://www.statistiekvlaanderen.be/nl/bevolking-onder-de-armoederempel>

Slide 68

どもが5人に1人ないし4人に1人います。家庭の中で別の言葉を使うと、複数言語は非常に大事ではありますが、実際の義務教育はオランダ語で行われるため、勉強についていけない子どもたちが多くいます。ですので、このような状況をどうすればいいのか、非常に大きな現状の課題となっています。

対策の一つとして、昨年度から義務教育が6歳から5歳に下げられました。今までは幼稚園は3歳から行ってもいいし、行かなくてもいいという状況でしたので、小学校が始まると今まで学校や幼稚園に通わなかった多くの移民の子どもたちが学校の勉強に全くついていけなかった、ということがありました。今は、少なくとも幼稚園のいわゆる年長組は通わないといけないという義務がありますので、そこである程度、言語を習得してもらうように、対策がとられました。さらに学習指導要領でオランダ語により焦点が当てられたので、オランダ語をさらに科目として勉強するような人たち、対策がとられました。

(Slide 66) 最後ですが、貧困との関連についてもちょっと指摘したいと思います。貧困に陥るリスクのデータをまとめましたが、(Slide 67) まず、国籍と貧困との関連についてデータがあります。ベルギー国籍であれば、貧困に陥るリスクが7%。ただし、ベルギーに住んでEU以外の国籍を持っている人の貧困のリスクは、3割となります。これは国籍と貧困とのリスクの関連です。

次に、教育と貧困との関連です。あまり教育を受けて

多言語情報の必要性



<https://www.integratie-inburgering.be/corona-meertalige-info?fbclid=IwAR0yWETMNXm3pcrdVO7S1rP7KKwdCTJnWNEtl-V1t4OexkF26mgcMcN1A1A>

Slide 69

いない人たちが貧困に陥るリスクは19%、およそ2割です。それと逆に大学卒かそれ以上でしたら、貧困に陥るリスクは非常に少ないです。では、(Slide 68) 国籍と教育との関係はどうなっているかといいますと、やはりベルギー国籍ですと、少なくとも中等教育を修了したか、大学を修了した人が8割以上となります。しかし、EU以外の最近の難民の方の多くが大学は3割以下、中等教育、それは義務教育を修了している人も3.5割にとどまっています。そして、義務教育を終えていない人は4割近くになりますので、やはり貧困に陥るリスクがあります。市民化、そして統合の条件、要素の一つが、就職できて社会の中で活躍することであると考え、このような状況では活躍できない方が非常に多く出てきます。そして、貧困へのリスクが高まります。そうしますと、社会保障に頼らざるを得なくなる。その結果として、ベルギー国籍の人の移民へのイメージが、職場や仕事を奪うとか、保障でたくさんお金を使うという負のイメージ

ジが解消できない状態になってしまうのです。

そのために、やはり今、オランダ語での情報が多いですが、その他の言語がまず必要となります。例えばコロナウイルスに対する情報なのですが、(Slide 69) 統合と市民化局が今、23 カ国で情報を流しています。ただし、必ずそこにたどり着いているかどうかというデータはまだありません。さらに、(Slide 70) 明瞭な言語での情報提供の必要性も見えてきました。

例えばワクチン接種が今、始まっていますが、予約の案内文はこのように3ページにわたって、ぎっしりとオランダ語で書かれています。3ページの最後のほうにようやくその他の言語が載せられています。ですので、果たしてこの3ページ目にたどり着けるのか。そして、PCを使う十分なリテラシーを持っているのか。このリンクにアクセスするリテラシーを持っているかという問題があります。最後に、本当に端末などを所有しているかどうかという問題も見えています。

(Slide 71) 幸い、いろいろな支援プログラムがあるのですが、明瞭な言語でのサンプルがつくられていました。ここでは色分けです。先ほどのこの3ページをこのような形で、色分けとシンボルで説明している書式があります。いろいろなサポートはありますが、十分にサポートが行き渡っている状態ではありません。ここでは私は明瞭な言語を使っています。

(Slide 72) もちろん日本でも「やさしい日本語」での案内文などが、例えばこの間、NHKで報道されまし

明瞭な言語での情報提供の必要性



ワクチン接種予約の案内文:
3頁目により他言語へのリンク

- 問題点:
- 1) 3頁目にたどり着くか
 - 2) PC等を使う十分なリテラシーを持っているか
 - 3) ネット環境が十分か(端末所持・アクセスポイント)

<https://dezuipootgent.be/2021/02/13/oproepingsbrief-vaccinatie/?fbclid=IwAR1m42jYm6dDF1dZp8UW12-4w9K137w9jCccK0yU>

Slide 70

接種を受けたい

Waar
Je kan je laten vaccineren in het vaccinatiecentrum
<17naam vaccinatiecentrum>
<18centr straatnaam> <19centr nummer>
<20centr postcode> <21centr gemeente>.

Wanneer
Je kiest zelf twee vaccinatie tijdstippen uit een beperkt aantal data.
Je moet aanwezig kunnen zijn op beide data.

Surf naar <25URL>, meld je aan met uw vaccinatiecode <26vaccinatiecode> en kies twee tijdstippen

Of laat u bijstaan door familie of vrienden om dit te doen

Of bel naar <27telnummer> om twee tijdstippen om je vaccinatie af te spreken.

Noteer deze 2 afspraken in je agenda.

De dag zelf
Breng mee:
- het e-ticket (en niet deze oproepingsbrief) dat u bij de reservering kunt afprinten of opslaan op uw smartphone
- je identiteitskaart.

Draag een mondkapje: een chirurgisch of een stoffen masker, geen bandana of sjaal.

Je krijgt een vaccinatie in je bovenarm.
Draag hiervoor makkelijke kleding.

Kom alleen, behalve als je hulp nodig hebt.

Als je symptomen van een infectie hebt (zoals koorts boven 38°), annuleer dan de afspraak en reserveer opnieuw wanneer je genezen bent.

明瞭な言語でのサンプル* 色分け、シンボル多用

接種について質問や疑問がある

Heb je nog persoonlijke vragen of twijfel je om je te laten vaccineren?

Contacteer je hu Medisch Dossier

Vraag informatie

Surf naar <39UF>

Bel naar het info <41telnummer>

接種を受けたくない

Ben je al gevaccineerd?
Informeer ons hier zeker over. Zo kunnen we jouw vaccin aan iemand anders geven. Je ontvangt dan ook geen herhalingsbrief, sms en e-mail meer.

Surf naar <36URL>, tik je vaccinatiecode in: <37vaccinatiecode>, en registreer dat je reeds gevaccineerd bent

Of laat u bijstaan door familie of vrienden om dit te doen

Of bel naar het <38telnummer>.

Wil je geen vaccinatie?
Informeer ons hier zeker over. Zo kunnen we jouw vaccin aan iemand anders geven. Je ontvangt dan ook geen herhalingsbrief, sms en e-mail meer.

Surf naar <33URL>, tik je vaccinatiecode in: <34vaccinatiecode>, en registreer dat je hierover niet meer gecontacteerd wilt worden

Of laat u bijstaan door familie of vrienden om dit te doen

Of bel naar het <35telnummer>.

*<https://dezuipootgent.be/wp-content/uploads/2021/02/20210212-Letter-without-prebooking-NL-1.pdf>

Slide 71

やさしい日本語での案内文*



綾瀬市は人口に占める外国人の割合がおおよそ5%と県内の市の中で最も高く、接種に必要なクーポン券や同封する説明の文章を平易なことを使った「やさしい日本語」でも記載することにしています。

NHK:2021年2月19日

*https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210219/1410012875961000.html?utm_medium=contents_slides&utm_source=word&utm_campaign=word&utm_term=word&utm_content=word

Slide 72

移民はいつ移民じゃなくなるのでしょうか。

- 統計の場合、「移民の背景を持つ人」とは、
1) 親の2人ともしくは1人の「第1記録国籍」がベルギー国籍ではないこと
2) 祖父母の世代は判断基準に含まれない
- 本人はどのような意識？
- 周りはどのような意識？

Slide 73

たが、綾瀬市はこのような、一部を「やさしい日本語」で表示しています。ただし、これが明瞭だとは私には感じられません。やはりもう少し、このように言葉だけではなく、シンボルや色付け、グリーンはオッケー、オレンジは質問や警戒、赤は嫌だとか気を付けるというような信号となるので、もう少し工夫が考えられるかと思えます。

(Slide 73) もうあまり時間がないと思いますので、私としての検討課題を申し上げると、移民はいつ移民でなくなるのか、ということです。こちらを読んでいただければ分かると思いますが、私は今、日本では移民になっているはずなんです。ただ、気持ちでは、私は移民ではないんです。でも、ベルギーでもやはり移民がずっと移民扱いされている。それは2世、3世でも移民扱いされている。そうすると、やはり統合や市民化は進まない状態ですので、このようなかたちになっています。移民はいつ移民でなくなるのか、今後も考えていきたいと思えます。

(Slide 74) 早口ではありましたが、皆さんの質問などがあれば、できる限りお答えしたいと思います。そして、(Slide 75) このようなかたちで研究を行っています。ありがとうございました。

梶山 ヴァンバーレン先生、ありがとうございました。多言語国家であり移民国家であるベルギーという国を通して、多文化共生と移民問題という日本にも通じる現代の普遍的な課題が浮かび上がってくるお話でした。十分な教育を受

Questions? 質疑応答

Slide 74

ご参加、ありがとうございました。

- 本講演の一部の基となる研究は科研費20K00695の助成を受けたものです。
- 本講演の一部は2021年2月末に岩本和子、井内千紗（編）『ベルギーの「移民」社会と文化—新たな文化的多層性に向けて—』（松籟社）の第1章（「市民化」を促す語学教育）として刊行される。

vanbaelen.ruth.gp@u.tsukuba.ac.jp

Slide 75

けられない移民たちは貧困に陥るリスクが高くなり、社会保障を受けることになるため、ベルギー国内のイメージが悪化してしまう、というお話は、他の国々にも当てはまるのだろう、と思いました。

それでは、残り時間は質疑応答に移りたいと思います。原則として、ご質問をされる方は、ご所属とお名前を名乗って発言していただくようお願いいたします。ただ、せっかくのオンラインということで、さまざまな環境で参加されている方がいらっしゃると思います。匿名がいいという方はもちろん匿名で構いませんので、ご遠慮なく質問をどうぞよろしくお願いいたします。質問がある方はいらっしゃるでしょうか。**タスタンベコワ・クアニシ（筑波大学人間系助教）** すみません。よろしいでしょうか。

梶山 クアニシ先生、よろしくお願いいたします。

タスタンベコワ ありがとうございます。人間系助教のクアニシと申します。ヴァンバーレン先生、非常に興味深い、面白いご発表をありがとうございました。実は私も日本においては移民なんですね。私はカザフスタン出身です。私も言語教育政策を研究している者なのですが、ご発表の内容について、二つ質問があります。

一つは市民化に関するところで、社会科とオランダ語の講座がありますが、それを合格しなければならないと先生がおっしゃったんですが、その合格率がどのくらいなのかもしご存じであれば、教えていただきたいと思えます。

あとは特に義務教育を受ける年齢の子どもたちについてなんですが、ご存じのように、日本では外国人には就学義務

がないですね。そうすると外国人の子どもは別に公立学校には行かせなくてもいいんですが、ただ、かといって民族学校、エスニックスクールというのも正式な学校として認められてなくて、各種学校で、そこを修了したとしても中等教育を修了したとは認められないわけです。そうすると、移民の子どもたちには、実は教育を受ける権利が非常に限られているということになります。

そういう意味でベルギーでは、移民の子どもたちの就学は義務づけられているのか、いないのか。そして、公立学校以外に民族学校、エスニックスクールというような教育の機会が保障されているかどうかということについて教えてください。

ヴァンバーレン クアニシ先生、ご質問をありがとうございます。まず一つ目の質問なのですが、講習の合格率ですが、正確な数字を私は持っていません。その主な理由は、合格していない人は改めてもう一回、講習を受けないといけないので、合格するまで受けざるを得ないということです。

ただし、特にオランダ語についてはプレースメントテストがありますので、例えば教育に慣れていない人たちもちろんいますので、そのような人たちはまず語学だけで480時間の講習となります。それと逆に英語などが流ちょうな方は非常に速いペース、そして場合によって自主学習で勉強する人もいます。サポートが非常に手厚いと思いますので、いずれかの段階では合格はします。ただ、正確な数字は、すみません、持っていません。

そして、子どもたちの教育ですが、子どもは就学義務がありますので、それはベルギー国籍であれ、外国籍であれ、必ず6歳から小学校に入り、それから18歳までの間は学校に通わなければいけません。それは義務になっていますので、日本のように教育のチャンスがない人はいないはずですが、エスニックスクールとかはあまりないような気がします。これで答えになっているでしょうか。

タスタンベコワ はい、ありがとうございました。

ヴァンバーレン はい、すみません。

梶山 田中副理事が手を挙げておられるので、田中副理事、ご質問をどうぞよろしくお願いいたします。

田中健太郎（筑波大学副理事） ありがとうございます。大変面白いお話だと思いました。ベルギーのことについて、いつも疑問に思うのですが、自国の中に三つの公的な言語が存在し、各言語圏が地方政府を持っています。さらにそのベルギー国家の上には欧州連合が存在し、EU市民という言い方も一般的にあると思います。そういう多層的で複雑な社会の中で、また移民も多いという中で、ベルギー人という一つのアイデンティティはどのように形成されているのでしょ

うか。少し大きな質問かもしれませんが。

ヴァンバーレン 非常に難しい質問ですね。田中先生、ご質問をありがとうございます。

まず言葉の面では公用語が三つで、大きく分けると北のほうのオランダ語圏とフランス語圏で、その辺の対立はいまだに残っていますが、少しずつは教育の現場で、イマージョン教育が行われていて、オランダ語圏で例えば地理とか歴史をフランス語で勉強するとか、そういう科目が少しずつ増えています。なので、そういう意味で交流……、交流というとおかしいのですが、国の中の他の言語に対する壁が少しはなくなっているかと思います。

ただし、そうするとアイデンティティが、私たちはベルギー人なのか、フラーンデレン、フランダース地方のフランダース人なのか、フランス語圏だとワロン人なのか。本当に人にとってまちまちだと思います。

私はもう日本が長いせいかわかりませんが、例えば日本に帰化することはないかもしれませんが、ベルギー人だということもあまり発言しないし、やはり世界、この地球の一員というかたちで生きているつもりです。もうあちこち住んだこともあるので、やはりそういう意味でアイデンティティが非常に難しい課題です。答えになっているかはわかりませんが。

田中 ありがとうございました。大変よく分かりました。

梶山 田中副理事、ありがとうございます。チャットのほうでも一つ、質問が来ていますので、私のほうで代読いたします。二つ来ていますね。

まず一つ目、國學院大學客員教授の古沢広祐先生より、「統合・市民化に対する財政規模やスタッフ、支援人材の規模はどのくらいでしょうか。近年、何が一番の問題でしょうか」とのご質問です。ヴァンバーレン先生、まずこちらの質問から、チャットをご確認できるでしょうか。

ヴァンバーレン まず私は、人材の規模は調べ切れていません。それは簡単には言えないと思います。まずは統合および市民化局というのがあって、講師の一部はその市民化局がやっているのですが、オランダ語教育は別の機関に委託しているので、その人数も含める必要があるでしょう。財政についてはすぐ数字は出せませんが、ただし、今まで話してきた方々はやはり予算が十分ではありません。やはりあちらこちらの語学の機関ではウェイティングリストがあったり、十分な設備がなかったりします。先ほどちょっとだけ、OSBOWという教育機関の写真をお見せしましたが、彼らは本当に古い家の中に教室をつくって、授業をやっているの、なかなか恵まれた環境とはいえません。これはどの国でもそうだと思うんですが、予算はやはり十分ではないと思います。これ

は規模と財政の話です。

近年の一番の課題について、課題はいろいろあるかと思いますが、まず一つの課題は CEFR の A2 レベルで十分かどうかという問題です。やはりある程度、自分の身の回りのことができていても、それで十分に就職できたり、昇格できたり、子どもの教育をサポートできたりするわけではないので、その辺のレベルをどうするかという問題はあります。

そして、さらに何度か発表の中で話したかと思いますが、やはり文化の背景によって、女性は自由に外に出られない場合もたくさんあります。そうしますと、普通は語学教育もそうですし、社会科もそうですが、男女別のクラスを設けていないはずなのです。そうするとやはり出席しない人も出てきますので、機関によって、わざわざ女性だけの教室が設けられる場合もありますので、そういう意味で、ベルギーの中、ヨーロッパの中のジェンダー観がどういうものなのか、そして、それをどういうふうに統合できるかという問題もあるかと思っています。

梶山 ありがとうございます。もう一つ、チャットで質問が来ております。本学の人文・文化学群 3 年生の田中耕介さんからのご質問です。「貴重なお話をありがとうございました。継承語の影響でオランダ語の習得が進まないという話がありましたが、継承語自体の学習支援はなされているのでしょうか」。

ヴァンバーレン これも非常に難しい問題で、一部の学校では継承語を使って、例えば友達同士、例えば社会科の授業があるとします。その中で、もちろん教員と話すときはオランダ語で話さなければなりません、友達同士で話し合いをするときは継承語を使っていいというような環境をつくる学校もあります。ただし、様々な議論があつて、教育をする上で継承語を好まないという政府の考えもまた非常に強いです。なので、今のところ、継承語の教育はあまり行われていません。

そうしますと、やはりアラブ語とか、今のアフリカのそれぞれの言葉とかの教育が恐らく頭に浮かんでくるかと思いますが、やはりそこで先ほどの質問とも関連していますが、まずお金、予算が必要となります。そして、さらにそれぞれの言葉を教えらる教育者、先生も必要となりますので、そんなに簡単なものではありません。

私は正確な数を持っていませんが、ベルギーの難民、移民の受け入れは非常に多いので、それだけで精いっぱいなところがあつて、全てを一気に賄うことができず、今のところは継承語の教育などは行っていないです。

梶山 ありがとうございます。ちょっと時間を過ぎてしまいましたが、ヴァンバーレン先生はこの後も少しお時間があると

聞いております。せっかくですので、もしご質問がある方がいらっしゃいましたら、どうぞ、匿名でも構いませんので、どなたかいらっしゃるでしょうか。

白山 すみません。人文社会系教授の白山です。日本では外国人住民に対する言語サービスという点で、例えば窓口を設けて英語や中国語で対応したりとか、あるいはポルトガル語・韓国語やベトナム語で対応したりという、実際に生活していく上で不可欠な、自治体へのアクセスという観点から見ると非常に手厚い印象があります。

ベルギーのような多言語社会の中で、移民が 5 人に 1 人という、それほど増えている中で、各種手続きといえますか、実社会の中で、また地域社会の中で生活していく上でいろいろな手続きをしなければならないと思います。そうした移民や外国人住民に対して言語サービスという点で、多言語対応といった具体的なサービスはおこなわれているのでしょうか。

ヴァンバーレン 白山先生、質問をありがとうございます。

言語サービスというか、言語サポートというか、そこでは法律が妨げとなっている点が一つあります。法律ではオランダ語圏、フランス語圏、ドイツ語圏で使用する言語がそれぞれ定められています。オランダ語圏はオランダ語だけだということになっています。

そうしますと、特に公の書類などになりますとオランダ語圏ではオランダ語でしか発行されません。他の言語で発行してはいけない法律になっています。

ただし、先ほど発表の中で少し紹介をしましたが、それだとやはり十分に情報が行き渡らないので、ボランティア団体や統合および市民化局など、いろいろな組織が移民をサポートしています。

ただし、市役所などに行くとまだまだ不十分だと思いますので、やはり誰かにサポートをお願いして一緒に行ったり、それか一緒に記入したりする必要があります。答えになっているでしょうか。

白山 ありがとうございます。

梶山 チャットで最初の質問をしてくださった古澤先生から、もう一つ、「移民の出身地や年代での変化などの変化動向はどうでしょうか」という質問が来ています。

ヴァンバーレン それは講演の最初のところでも少し触れたかと思いますが、1990 年代よりも前は非常に限られた国からの移民が多かったです。主にヨーロッパの国で、特に、隣国のフランス、オランダが多かったです。そして、イタリア、少し離れますけれども、トルコと、ポーランドなど東ヨーロッパの国が多かったのですが、最近はやはり世界情勢の影響もあつて、内戦などから逃げるアフリカからの移民。

移民とはなかなか言えないです。難民が非常に多いです。その中では経済難民もいれば、政治難民もいます。やはり年齢が恐らく下がってきているかと思います。

さらにジェンダーを見ると、男性が多いですね。やはり難民だとまず男性、家族の中から男性が逃げていって、生活が少し安定してきたところで家族を呼び寄せるといようなかたちが多いので、今の状況だと男性が少し多めになっています。

特に多くの文化において、女性は外で独り歩きしてはいけないという状況もありますので、あまり町の中では見掛けませんが、男性がグループをつくって出掛けることが習慣となっているので、それもまた誤った認識の一つとなります。「またこんな男性の多いグループがいるんだ。男性だけの移民だ」というイメージがありますが、そこまでアンバランスであるわけではないです。ただ、正確な数字は今、持っていません。すみません。

梶山 他の方はご質問いかがでしょうか。

タスタンベコワ もしよろしければ、すみません。短く1点なんですが、日本ですとやはり外国人には地方選挙でも参政権がないじゃないですか。ベルギーでは例えば国全体の国会ではなくても、地方レベルでは参政権はありますか。

ヴァンバーレン あります。もちろん幾つか条件がつきます。具体的には、まず在留資格があり、18歳以上で、5年以上のベルギーでの居住と住民票の保持が求められます。そして、参政の意思表示を自治体に申請しなければなりません。以上の条件をクリアすれば、参政権が認められます。

しかし、共同体政府の参政権はありません。また、連邦レベルの参政権也没有ありません。

タスタンベコワ そうですね。ベルギーでは、地方自治体レベルでの参政権が認められているのですね。社会の一員になるという、市民化のプロセスがそこにはあるのだと思います。

白山 たびたびすみません。市民化というキーワードと、それから社会統合というキーワード。これは移民を受け入れる社会において非常に重要な概念で、国や自治体の政策に直結するものだと思います。移民に対する市民化教育、市民化講座というものを通じてベルギー市民という、そういったアイデンティティ形成を促すということになると思いますが、これは最終的には永住化するということを念頭に置いた政策なのでしょうか。もしそうだとすれば、ベルギー国民という、アイデンティティ形成も念頭に置いているのでしょうか。やはり、市民という概念と国民という概念と両方があると思いますが、その二つのアイデンティティを形成することを目指しているものなのでしょうか。教えていただきたいと思います。

ヴァンバーレン それはまた非常に大きな研究テーマになると思いますが、今、私の意見を申し上げますと、恐らくそこまではまだ考えていない、まだ十分にそういった役割は果たせていないと思います。この統合および市民化局が設立されたのは2015年です。まだ軌道に乗ってきたばかりですので、今後、どのような課題が出てくるのか、またそれらをどのように調整する必要があるか、今、見ているところだと思います。移民の数が増加した中で、これから彼らがベルギー社会の中でどのような構成員になるのか、そのプロセスの真っ最中なので、まだ何とも言えないところです。

ベルギー国籍を持っている人や長くベルギーに住んでいる、2世、3世の移民をどのように受け入れているかについての研究の蓄積もある程度進んでいると思います。現実社会でのベルギーでは、移民に対する差別や偏見が根強く存在しています。社会的な宥和・調和という点で、まだまだ統合とは言えないと感じています。今も社会統合のプロセスにあると思います。

白山 ありがとうございます。よく分かりました。

梶山 では、挙手されている山本先生、お待たせいたしました。

山本 ヴァンバーレン先生、とても興味深い発表をありがとうございました。一つだけ、最後にお聞きしたいんですが、もともと多言語が存在していて、その対応に課題があるというところに新しい移民という課題が乗っかってきて、非常に状況がさらに複雑化していつているなということがよく分かりました。

その中でもベルギーの場合は教育を通じて integration を進めていく。しかも formal education、non-formal education、それから informal education、その三つの教育を組み合わせ、そこから integration というのを進めているというのが非常に面白いなと思っていて、いろいろ私の中でも考えていたんですが、中でも急激な変化で他の価値観への対策が必要になってきている中で、ベルギーという国はもともと多言語であった。多言語の人たちが住んでいたという下地がある程度、できていた上での複雑化というのがあると思うんですが。首を振っていらっしゃいますか。違うんでしょうか。

というのも、先ほど先生のお話にもありましたけれども、日本はやはり島国で、2021年の現在でもまだ2.3%の外国籍の人しか住んでいないというふうにおっしゃっていましたね。そういったほぼ単一の言語、文化を持つ日本という社会が今後、多様化に変わっていくのに、ヴァンバーレン先生個人のご意見としては、日本はどこから始めるのが必要なのか。何が重要だというふうに考えていらっしゃるでしょうか。ご意

見をお聞かせいただければと思います。

ヴァンバーレン ご質問、コメントをありがとうございました。ベルギーは今、言語教育に力を入れています、それは一部の話だけで、恐らく今、これからやはり表面化してくる大きな問題は宗教なのではないかと思います。

私たちベルギー人の多くはもともキリスト教のカトリックでしたが、それが徐々に信仰熱心でなくなってきました。ただし、今、多くの移民、難民はムスリム系で、非常に熱心に宗教を行っているところで、そういった対立も見えてきて、これからそれをどううまく社会の中で調和させていくのかという問題が一つあるかと思っています。ですので、言語教育だけでは不十分だと私は感じています。

そして、ベルギーは多言語国だと思われがちですが、最初の地図でも示したように、色分けされているんですね。オランダ語圏ですと、幼稚園から大学を卒業するまで、全部、オランダ語で勉強ができます。もちろんその中で第2言語としてフランス語や英語を習うことはありますが、フランス語を使う人との交流はあまりないんです。

例えば私の母は多少、フランス語ができます。今コロナ禍でなかなか移動はできないんですが、普段、フランス語を話す人とのぐらゐ交流があるかというところ、年に3〜4回ぐらゐかと思っています。

多言語とはどういう概念を意味するのか。まず言葉話せるから多言語国家だとは言えないと思います。交流があるからこそ、多言語国家だと思うので、ベルギーはそういう意味で、一般のベルギー国籍の人は異なる言語を使う他の人とは交流していない気がします。もちろん若い人に間ではだゐ過発に交流するようになってきてはいるんですが、必ず1日の中で複数の言語を使うというわけではないんです。それがまず1点です。

そこで日本の単一的言語社会の中で移民が入ってきて、何が求められるかと聞かれると、私は真っ先に予算だと言います。今、日本の政府はそれぞれの地方自治体に「日本語教育を行ってください」と言いながらも、自治体の多くは、ボランティアに頼る傾向があります。ただし、ボランティアだとやはり個人の生活もあるので、継続できる人もいれば、そうではない人もいます。ですから、そのプログラムの継続性が見えてこなくなります。組織化した公的な教育体制をつくらないと、そのうち非常に困ることになると思います。

困るのは実際に日本に住んでいる移民の方もそうだし、彼らと十分にコミュニケーションが取れない私たちも今後、困ることになると思います。いずれにしても、予算とそれに伴った体制作り・組織化が必要なのではないかと強く感じています。

山本 ありがとうございます。実は私がもう一つしたかった質問がこの予算のことだったんです。最後にお聞きしたいんですが、ベルギーの移民に対する市民化教育プログラムはかなりの予算を必要とすると思うんですが、これを受講する移民の人たちは一切無償なのでしょうか。

ヴァンバーレン すべて無償というわけではありません。今までは無償だったんです。2019年ぐらゐまでは無償で、その後、選挙があり、政府が変わって、やはり移民人口の顕著な増加を背景に一定の自己負担が求められているようです。200ユーロ程度だと聞いています。

山本 分かりました。どうもありがとうございます。

白山 白山です。ヴァンバーレン先生、すみません、もう一つ質問してもよろしいでしょうか。

ヴァンバーレン先生が今日、ご発表されたスライドの中で、綾瀬市の「やさしい日本語」での案内文というのを紹介されていました。弘前大学名誉教授の佐藤和之先生は、1995年1月の阪神淡路大震災のときに、外国人住民が大事な情報を受け取れなかったために亡くなってしまった割合が日本人よりも高かったこと、緊急時には、英語より「やさしい日本語」が有効であることを指摘されています。それから四半世紀以上にわたって、災害などの緊急時には、「やさしい日本語」を発信することが大事だということで、その「やさしい日本語」の研究と普及に尽力されています。今では日本全国の自治体にもかなり浸透してきています。今、「やさしい日本語」は、ワクチンの接種案内などのNHKのニュース報道でも使われている、そういう時代になってきました。

これをベルギー社会の文脈に置き換えた場合、「やさしいオランダ語」で、外国人に向けて大切な情報を伝達するという考え方は存在するのでしょうか。こうした発想を、将来、ベルギー社会の中で生かすことはできるでしょうか。日本の「やさしい日本語」の状況をベルギー社会でオランダ語に置き換える、あるいはフランス語やドイツ語に置き換えてできるのか、そういったことを先生にお尋ねしたいと思っています。

ヴァンバーレン 大事な課題ですね。白山先生、ありがとうございます。

この「やさしい日本語」というのは賛否両論があると思いますが、非常に大事な取り組みだと思います。今日、参加くださっている大学院生の片山奈緒美さんは、それと関連して、「やさしい日本語」だけではなくて分かり合える日本語について研究をしています。「やさしい日本語」は私としては一方通行なもの思えます。受け取る側が分かれば、それで十分だというのですが、やはりコミュニケーションは双方が参加できなければ不十分ですので、まだもう少し考える

必要があるかと思います。

ベルギーの社会に置き換えた場合、既にたくさんの取り組みがあります。例えばオランダ語の場合では、^{ワブリーフ}「Wablieft」という組織があります。「ワブリーフ」は「すみません」という意味です。聞き直すときなどに使うオランダ語で、十分に聞き取れなかったり内容が伝わらなかったときに使う単語なんですね。

この組織はNHKのEASY NEWSと同じように、ニュースの項目を分かりやすいオランダ語で書き直したりしています。

その他にやさしいオランダ語で小説も出版しています。多くの場合、語学の教材というのは子どもや若い人向けになっています。ある程度、成人して年をとると、物語の動物の話や今日の食事といった話といったテーマでは、あまり勉強したくない場合もありますよね。もう少し深い話を題材にした小説を書いて、分かりやすいかたちで書き直しているものなどを「ワブリーフ」がたくさん発行しています。

さきほど共有したスライドの中にも、例えばワクチン接種の予約案内文もやさしいオランダ語、明瞭なオランダ語で、誰が見ても読んでも分かるようなかたちに書き直す取り組みがたくさんあります。

白山 それはドイツ語圏地域でも、フランス語圏地域でも同じですか。

ヴァンバーレン 推測ですが、そうだと思います。すみません。私はオランダ語圏の人間なので、情報を集めるときはま

ずオランダ語で探し、今日の話であればオランダ語の情報を日本語に置き換えて話をしています。フランス語圏のものを探す場合はまずフランス語の膨大な情報の中で探さないといけないため、ちょっと個人的に私にとっては難しく、何とも言えません。すみません。

白山 いえ、すみません。ありがとうございます。やさしいオランダ語という観点で日本と同じような取り組みが、かたちは違うかもしれませんがあるということ。それを聞けただけでも大きな収穫でした。先生、ありがとうございました。

ヴァンバーレン ありがとうございます。

梶山 では、質問は以上でよろしいでしょうか。そろそろ終了したいと思います。本日は参加者も多いということで、注目度も高かったので、例外的に時間を延長してまいりましたが、時間も押しておりますので、これにて終了したいと思います。

NipCA プロジェクトでは、今週金曜日にももう一つ、講演を予定しておりますので、ご関心のある方は本プロジェクトのウェブサイトをご覧ください。

ヴァンバーレン先生、ご多忙のところ、長時間にわたり、日本社会にとっても非常にアクチュアルな講演をしていただき、ありがとうございます。また参加者の皆さまも最後までお付き合いいただき、ありがとうございました。皆さまに各自、ご退室いただくかたちにして講演会を終了したいと思います。ご参加いただいた皆さま、どうもありがとうございました。

第 19 回「中央ユーラシアと日本の未来」公開講演会

ベルギーの多文化共生と移民問題

2021 2 / 22 月
15:15~16:30

登録〆切：当日15:00



Vanbaelen Ruth

ヴァンバーレン ルート先生

筑波大学

人文社会系 准教授

グローバルコミュニケーション教育センター
(CEGLOC)

日本語教育部門

zoom



申込
方法

右記 QR コードにて参加登録をすると、どなたでも無料でご参加いただけます。
ご登録後、講演会前日までに、会場ご入室のための URL をお送りいたします。

※当日ライブ視聴できない本学学生・教職員の皆様のために、manaba にて無料の動画配信を
予定しております。詳細は、講演会後下記 NipCA プロジェクト Website にてお知らせいたします。

主 催：筑波大学「日本財団 中央アジア・日本人材育成プロジェクト (NipCA)」

共 催：日本言語政策学会多言語対応研究会

協 力：日本・中央アジア友好協会 (JACAFA)、筑波大学 グローバル・コモンズ機構、国際室、
グローバルコミュニケーション教育センター社会貢献委員会、スーパーグローバル大学事業推進室、地域研究イノベーション学位プログラム、
人文・文化学群、社会・国際学群、科研基盤研究 (C) 社会実装のための多様な「やさしい言語」に関する総合的研究

Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION



問合せ：NipCA プロジェクト Website: <https://centralasia.jinsha.tsukuba.ac.jp/>

TEL: 029-853-4251 / Email: info@genis.jinsha.tsukuba.ac.jp

筑波大学「日本財団 中央アジア・日本人材育成プロジェクト (NipCA)」主催
公開講演会シリーズ「中央ユーラシアと日本の未来」
第 19 回 ベルギーの多文化共生と移民問題
筑波大学 人文社会系 准教授 ヴァンバーレン・ルート

2021 年 4 月 15 日

監 修 臼山 利信
編集・校正 梶山 祐治 (主担当)、山本 祐規子、谷越 祥子、笹山 啓
発 行 者 臼山 利信
発 行 所 筑波大学「日本財団 中央アジア・日本人材育成プロジェクト (NipCA)」
茨城県つくば市天王台 1-1-1
Tel: 029-853-4251
E-mail: info@genis.jinsha.tsukuba.ac.jp
Web: <https://centralasia.jinsha.tsukuba.ac.jp/>
印刷・製本 株式会社アイネクスト



筑波大学「日本財団 中央アジア・日本人材育成プロジェクト (NipCA)」

〒305-8571 茨城県つくば市天王台 1-1-1 筑波大学

Tel. 029-853-4251

E-mail: info@genis.jinsha.tsukuba.ac.jp

Web: <https://centralasia.jinsha.tsukuba.ac.jp/>



公開講演会シリーズ第19回のテーマカラーは、国連が定めた17の「持続可能な開発目標 (SDGs)」のうち、「目標2. 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する」のアイコンの色を基調としています。